



KSK あまねだより



(頒価 20 円)

発行 神奈川県障害者定期刊行物協会
222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3階
横浜市車椅子の会内
編集 あまね共同作業所
239-0805 横須賀市舟倉 1-12-1
TEL 046-833-4035 FAX 046-833-4062
2019年10月6日 第427号

きょうされん全国大会 IN 名古屋-地域作り・人作りの分科会に参加して-

今年のカレンダーも一枚を残すだけになってしまいました。「一年がたつのが速い」と実感しています。先月の「あまねだより」の裏面にも書かせていただきましたが、グループホームの仲間と共に12名で「きょうされん全国大会 IN 名古屋」に参加してきました。前回は仲間の様子を中心に記載しましたが、今回は分科会に参加して感じたこと等をお伝えしていきたいと思えます。

昨年も地域作り・人作りの分科会に参加し、この紙面に和歌山の社会福祉法人一麦会や福島県のNPO法人シェルパの取り組みの報告をさせていただきました。今年も同じ分科会に参加させていただき、神奈川県の実業所で川崎にある「はぐるま共同作業所」を含めて3か所の取り組みが報告されました。

今回分科会に参加して、直面している課題はどれも共通していました。第1世代(何もないところから切り拓き作りあげてきた世代)は無認可時代から、重度の人に何故「働く」(賃労働だけではなく、社会との接点やかかわりを広い意味ではたらくと捉えてきた)を位置付けるのかと言われながら、集団で取り組みを実施してきました。しかし、その思いが第2世代・第3世代に上手く引き継がれていないことです。その背景にはこの間目まぐるしく変化してきた福祉制度の在り様があるように思えます。そのようななかで、思いが繋がっている法人の取り組みを伺うと、初期の方が築いた理念を、次世代の方が引継ぎつつ、その時代にあった働き方を考え実践されていました。これからのことを考えていく上でのヒントをいただきました。

昨年の報酬改定で成果主義が導入されると共に効率性も求められ、就労継続B型事業所が実質の支払い工賃額によって報酬単価が異なるようになりました。障害者地域作業所時代から大切にしてきた「自分の持っている力を発揮できる場」を大切にするために、法定事業に移行を求められた時に生活介護事業所を選択せず、就労継続事業所に移行した所は大打撃を受ける結果になっています。今までは「じっくり、ゆっくり、ゆるやかに」支援に取り組んできました。改めて成果主義・効率主義の問い直しをする必要があることも話の中から感じました。

また、もう一方で、地域を巻き込んで仲間の方の働く場の確保や生活の場の広がりを実践してきた、長い歴史をもつ社会福祉法人であっても、近年グループホームを建設する際に反対運動が起きているという実態を聞くにつけ、これからの地域作りにむけて人の根っこに潜んでいる障害者への偏見に対して、丁寧に向き合っていく必要があることを学びました。

日々の活動でも、制度が変わったなかで対応が大きく変わり、これで良いのかとの思う場面が多々あります。全国の取り組みを聞く中で、共感したり、学びがあったり、今後のことを改めて感じたり…有意義な2日間を過ごすことができました。

普段みることのできない仲間の生活を垣間見る機会を得ることができたことも大きな収穫でした。仲間はもう来年の和歌山大会に気持ちが行っていますが、さあ、来年はどうなることやら…鬼が笑っているかもしれませんネ(笑) (海原・記)



きょうされん第43次国会請願署名が始まります-ご協力お願いします-

障害福祉についての制度の拡充を求める請願署名が始まります。今年項目には、慢性的な人材不足に悩む福祉現場で必要な職員を確保できるように！と人材確保を求めた項目が入っています。次回あまねだよりに詳細を載せませんが、是非ご協力をお願い致します。

資源回収ご協力ありがとうございます

10月実施分は
11,231kgでした
(奨励金は44,900円)

次回の日程は別紙にて
お知らせします。

問い合わせは9:00以降に
お願いいたします。

☆スケジュール

4日 グループ活動
13日 資源回収 岩戸・池田
14日 資源回収 舟倉・若宮台
20日 職員会議(生活会議)
28日 1月5日
年末・年始休暇



☆バザーの予定

1日 障害者週間キャンペーン
モアーズストリート
2日・3日 県庁販売
4日 女性会 メルキュールホテル
14日 武山養護学校
18日 NTT Docomo

【あそびの仲間】

竹内様・大曲様・神渡様・近藤様・山田様
秋元様・奥村様・成田様・高橋様・東様
桑山美容室様・鈴鈴様・南川様・永井様
鳴原様・出町様 (順不同)

資源回収の折、バザー用品や寄付などを
頂きます。お名前を記せませんが、有効に
活用させて頂きます。



台風がたくさん



ことしの秋もたくさん台風が来ました。台風は雨や風がとても強くて建物や木々などに多くの被害をもたらします。

傘がひっくり返ってこわれてしまったひとたくさんいたのではないのでしょうか。かもめはうすではまわりの丘から大きな木の枝などがたくさん落ちてきて怖い思いをしましたが、ちょっと停電したくらいでさいわい被害はありませんでした。夜の台風は暗いせいで雨や風の音がおおきく聞こえてくる感じがしてとても怖いものです。大怪獣がおそってきたような気がしてドキドキしながらねむりました。



小人さんと仲間たち

台風の夜は小人さんたちもそれぞれの仲間の部屋で一緒にドキドキしています。テレビをつけて怖さをまぎらわしている仲間。お気に入りの歌をうたっている仲間。早くに布団に入って目をつぶっている仲間。でも、はやく台風が行ってしまわないかなと思う気持ちは皆同じです。

職員さんはそんな仲間たちのことを思いながら入浴で着替えた衣類が入ったかごの中身を洗濯機に放り込みます。いたずら小人さんがポケットにちり紙なんか入れていないかなとチェックしてから、どうか停電で洗濯機が止まらないようにとお祈りしながらスイッチオン。そして、停電にそなえてLED ランタンの充電器をぐるぐる回します。もしも停電したときに小さな明かりがすぐに灯るとドキッとした心がほっとするからね。

夜のニュースでは今日は満潮と台風の接近が同じころになるので、海の近くでは高潮に気を付けてくださいと言っていました。山の近くはがけ崩れ。川の近くでは水があふれる洪水に注意してください。命は自分で守ってくださいとくり返し言っています。仲間たちはこんなテレビをいつまでも見ていたくないのでしょうか早々と居室へ行ってしまいました。

小人さんたちにとっては自分の身は自分で守るなんて言うのは当たり前のことです。ついうっかりなんてしてはいられません。うっかりしていたらふだんだって踏みつぶされて、あわれ平面小人が出来上がってしまいます。みなさんもし小人さんの絵柄のシールを見つけたら大事にしてあげてくださいね。

草木も眠るうしみつ時仲間たちは布団の中で楽しい夢を見ていました。背中にはおやつとジュースが入ったリュックサック目的地はすぐ近くです。一生懸命歩いた夏の

日、やっと着いた広場で汗をふきながらおやつを食べているところ。職員さんは時計を見て、“ここまで20分で着きました。みんなよく頑張ったね。これからも避難訓練頑張ろうね。”とみんなに声をかけています。実はリュックサックの中にはおやつのほかにも薬や即席ご飯や水や懐中電動などの避難用品がどっさり入っていてけっこう重いのですが、足が不自由な仲間たちも遅れずに歩いてくれてほっとしたところなのです。もちろん小人さんたちもそれぞれの仲間のリュックの中で“がんばれ！がんばれ！”と応援していたのです。小人さんたちは広場に着くと蒸し暑いリュックから出て、近くの木の葉の裏でホット一息。葉っぱの虫食い穴からおやつを食べる仲間たちを見守っていました。

台風が去った次の日仲間たちはニュースをみてびっくりしました。あちこちで川があふれて町の中は水でいっぱい。“かわいそう。こんなとこ歩いて避難できないね。”職員さんはそんな仲間たちに、“ほんとうだね、だから早めに避難しないとイケないね。こんどは雨の日にカッパを着て避難訓練してみようか。”と言うと。“うん、やろう、やろう。おやついっぱい持っていけないとイケないね。”●▽？！

“そうだね、避難は余裕があるうちにゆっくり出来ないといけないね。”と言いながら職員さんの伸さんは、リュックにおやつ入れたら着替えが入らないよと頭を抱えています。仲間の着替えは私のリュックに詰めようと思いましたが。自分の非常持出品はいつも着ているチョコッキの10個のポケットに入っているから大丈夫なのです。

文責 高橋



静岡県牧之原産やぶきた
深蒸し茶を販売しています

200g 千円

ご注文は作業所まで

046-835-0723



ふきん販売に
ご協力ください

布地8枚重ね 3枚組

660円

ご注文は作業所まで

046-835-0723